

リスクインテリジェンスマップ

主要リスク一覧

R001: 特定顧客依存リスク

カテゴリ: 事業リスク

発生可能性: 高 (3)

影響度: 高 (3)

リスクレベル: 9 (クリティカル)

リスク内容: 特定の大口顧客への売上依存度が高く、当該顧客の業績悪化や取引停止が当社業績に重大な影響を与える可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 大口顧客の財務状況悪化
- 売上債権の回収遅延
- 検収プロセスの遅延
- 業界内での顧客企業の評判悪化

影響予測:

- 売上減少リスク
- 貸倒損失の発生
- 営業利益の大幅減少

監査重点項目:

- 売上債権の回収可能性評価
- 貸倒引当金の適正性
- 収益認識基準の遵守状況
- 与信管理体制の有効性

R002: 収益認識の適正性リスク

カテゴリ: 会計・財務リスク

発生可能性: 高 (3)

影響度: 中 (2)

リスクレベル: 6 (高)

リスク内容: 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」に準拠しない売上計上が行われ、財務報告の信頼性が損なわれる可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 検収書未受領での売上計上
- 営業部門からの圧力による例外処理の常態化

- 四半期業績目標達成のための不適切な会計処理

影響予測:

- 過年度修正の必要性
- 監査法人からの指摘
- ステークホルダーからの信頼失墜

監査重点項目:

1. 売上計上基準の遵守状況
2. 検収プロセスの実効性
3. 例外処理の承認状況
4. 期末カットオフの適正性

【高リスク】**R003: サイバーセキュリティリスク****カテゴリ:** ITリスク**発生可能性:** 中 (2)**影響度:** 高 (3)**リスクレベル:** 6 (高)

リスク内容: サイバー攻撃による機密情報の漏洩、システム停止、ランサムウェア被害等が発生する可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 製造業を狙ったサイバー攻撃の増加
- リモートワーク環境のセキュリティ脆弱性
- 従業員のセキュリティ意識不足
- レガシーシステムの脆弱性

影響予測:

- システム復旧費用の発生
- 事業停止による機会損失
- 顧客情報漏洩による損害賠償リスク

監査重点項目:

1. セキュリティポリシーの整備状況
2. アクセス権限管理の適正性
3. バックアップ・復旧体制
4. 従業員教育の実施状況

R004: 人材確保・流出リスク**カテゴリ:** 人事・労務リスク**発生可能性:** 高 (3)

影響度: 中 (2)

リスクレベル: 6 (高)

リスク内容: 熟練技術者の退職や新規採用の困難により、生産能力や技術力が低下する可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 技術者の高齢化
- 若手技術者の採用困難
- 同業他社への転職増加
- 技術継承の遅れ

影響予測:

- 生産能力の低下
- 品質問題の発生リスク
- 採用・教育コストの増加

監査重点項目:

1. 人材育成計画の実効性
2. 技術継承の進捗状況
3. 労働環境の改善状況
4. 人件費の適正性

R005: 原材料価格変動リスク

カテゴリ: 市場リスク

発生可能性: 中 (2)

影響度: 中 (2)

リスクレベル: 4 (中)

リスク内容: 鋼材、アルミニウム等の原材料価格上昇により、収益性が悪化する可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 国際情勢による資源価格の不安定化
- 為替変動による輸入コスト増加
- 顧客への価格転嫁の困難

影響予測:

- 原価率の上昇
- 営業利益の減少

監査重点項目:

1. 調達戦略の有効性
2. 価格変動リスクのヘッジ状況
3. 在庫管理の適正性
4. 価格転嫁の実施状況

【中リスク】

R006: 法規制変更リスク

カテゴリ: コンプライアンスリスク

発生可能性: 中 (2)

影響度: 中 (2)

リスクレベル: 4 (中)

リスク内容: 環境規制、労働法規、会計基準等の変更により、追加コストや業務変更が必要となる可能性がある。

具体的な懸念事項:

- カーボンニュートラル関連規制の強化
- 働き方改革関連法の改正
- 会計基準の国際化

影響予測:

- 設備投資の追加
- 業務プロセス変更コスト
- コンプライアンス体制強化費用

監査重点項目:

1. 法規制の変更動向把握
2. 対応計画の策定状況
3. コンプライアンス体制の整備
4. 教育・研修の実施状況

R007: 品質問題リスク

カテゴリ: 事業リスク

発生可能性: 低 (1)

影響度: 高 (3)

リスクレベル: 3 (中)

リスク内容: 製品の品質不良により、顧客からのクレーム、損害賠償、信用失墜が発生する可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 検査工程の人員不足
- 設備の老朽化
- 品質管理基準の形骸化

影響予測:

- 損害賠償費用の発生
- 信用失墜による受注減少
- 品質改善コスト

監査重点項目:

1. 品質管理体制の有効性
2. 検査プロセスの適正性
3. 不良品対応の迅速性
4. 品質改善活動の実施状況

R008: 為替変動リスク**カテゴリ:** 市場リスク**発生可能性:** 中 (2)**影響度:** 低 (1)**リスクレベル:** 2 (低)**リスク内容:** 円安進行により、輸入原材料コストが上昇し、収益性が悪化する可能性がある。**具体的な懸念事項:**

- 外貨建て原材料の調達
- 為替ヘッジの未実施
- 価格転嫁の遅れ

影響予測:

- 原価上昇
- 営業利益への軽微な影響

監査重点項目:

1. 為替リスクの把握状況
2. ヘッジ戦略の有無
3. 価格設定の適正性

【低リスク】**R009: 自然災害リスク****カテゴリ:** 事業継続リスク**発生可能性:** 低 (1)**影響度:** 高 (3)**リスクレベル:** 3 (中)**リスク内容:** 地震、台風等の自然災害により、生産設備の損傷や事業停止が発生する可能性がある。**具体的な懸念事項:**

- 大規模地震のリスク
- 台風による設備損傷
- サプライチェーンの寸断

影響予測:

- 設備復旧費用
- 事業停止による機会損失
- 保険でカバーされない損失

監査重点項目:

1. BCP（事業継続計画）の整備状況
2. 保険加入の適正性
3. 代替生産体制の確保
4. 重要データのバックアップ

R010: 金利上昇リスク

カテゴリ: 財務リスク

発生可能性: 中（2）

影響度: 低（1）

リスクレベル: 2（低）

リスク内容: 市場金利の上昇により、借入金利負担が増加し、財務コストが上昇する可能性がある。

具体的な懸念事項:

- 中央銀行の金融政策変更
- 変動金利借入の比率が高い
- 借換え時の条件悪化

影響予測:

- 金利負担増加
- 借換え条件の悪化

監査重点項目:

1. 金利リスクの管理状況
2. 固定金利への借換え検討
3. 資金調達が多様化

業界別リスク分析

精密機械部品業界の共通リスク

市場環境の変化

- **自動車業界の構造変化:** 従来部品需要の変動
- **産業用ロボット市場の拡大:** 新規需要の創出
- **海外経済の動向:** 輸出への影響

技術革新への対応

- **AI・IoT技術の導入:** 投資負担と効果

- **新加工技術:** 既存技術の陳腐化リスク
- **新素材加工技術:** 技術習得の必要性

競争環境の激化

- **価格競争の激化:** 利益率の圧迫
- **海外企業との競争:** 技術力・コスト競争力
- **業界再編の進行:** M&A・統合の動き

地政学的リスク

国際情勢の影響

- **国際貿易摩擦:** サプライチェーンへの影響
- **地政学的緊張:** エネルギー・資源価格への影響
- **地域紛争:** 半導体等重要部品供給への影響

貿易規制

- **輸出管理規制:** 技術輸出の制限
- **関税政策の変更:** 輸出入コストへの影響
- **経済制裁:** 取引先への影響

ESG関連リスク

環境（Environment）

- **カーボンニュートラル対応:** 設備投資・運用コスト
- **廃棄物処理規制:** 処理コスト・手続きの複雑化
- **省エネ規制:** エネルギー効率改善の必要性

社会（Social）

- **働き方改革:** 労働時間管理・生産性向上
- **ダイバーシティ:** 多様な人材の活用
- **地域社会との関係:** CSR活動・地域貢献

ガバナンス（Governance）

- **コーポレートガバナンス:** 経営の透明性・説明責任
- **内部統制:** リスク管理・コンプライアンス
- **情報開示:** ステークホルダーへの適切な情報提供

リスク相関関係マトリックス

リスク

R001

R002

R003

R004

R005

リスク	R001	R002	R003	R004	R005
R001特定顧客依存	-	高	低	中	低
R002収益認識	高	-	低	低	低
R003サイバーセキュリティ	低	低	-	中	低
R004人材確保	中	低	中	-	低
R005原材料価格	低	低	低	低	-

相関関係の説明:

- 高: 一方のリスクが顕在化すると、他方のリスクも高まる
- 中: 間接的な影響がある
- 低: 直接的な関係は少ない

監査計画への反映

2024年度監査重点領域

第1四半期（4-6月）

1. 特定顧客依存リスク（R001）
- 大口顧客債権の詳細調査
 - 回収可能性の評価
 - 貸倒引当金の適正性確認
2. 収益認識の適正性（R002）
- 売上計上プロセスの検証
 - 検収基準の遵守状況確認
 - 例外処理の妥当性評価

第2四半期（7-9月）

1. サイバーセキュリティリスク（R003）
- セキュリティ体制の評価
 - アクセス権限管理の確認
 - インシデント対応体制の検証
2. 人材確保・流出リスク（R004）
- 人材育成計画の評価
 - 技術継承の進捗確認
 - 労働環境の改善状況調査

第3四半期（10-12月）

1. 原材料価格変動リスク（R005）

- 調達戦略の有効性評価
- 在庫管理の適正性確認
- 価格転嫁の実施状況調査

2. 法規制変更リスク（R006）

- 法規制対応状況の確認
- コンプライアンス体制の評価

第4四半期（1-3月）

1. 品質問題リスク（R007）

- 品質管理体制の評価
- 検査プロセスの有効性確認

2. 年度総括監査

- 全リスクの再評価
- 次年度計画の策定

監査リソース配分

リスクレベル	監査時間配分	監査人員
クリティカル	40%	主任監査人+2名
高	35%	主任監査人+1名
中	20%	監査人1名
低	5%	監査人1名

早期警戒指標（KRI: Key Risk Indicators）

特定顧客依存リスク

- 売上集中度: 特定顧客への依存度20%超
- 債権回転期間: 60日超
- 信用評点: 50点未満

収益認識リスク

- 検収書未受領率: 5%超
- 例外処理件数: 月5件超
- 期末売上集中度: 月間売上の30%超

サイバーセキュリティリスク

- **セキュリティインシデント件数:** 月1件超
- **パッチ適用率:** 90%未満
- **セキュリティ教育受講率:** 95%未満

人材リスク

- **離職率:** 年10%超
- **平均年齢:** 55歳超
- **技能検定取得率:** 70%未満

外部環境モニタリング

情報収集源

1. **業界団体:** 関連工業会、業界団体
2. **信用調査機関:** 主要信用調査会社
3. **金融機関:** メインバンクからの情報
4. **監査法人:** 業界動向・規制情報
5. **政府機関:** 関連省庁、中小企業庁

定期レビュー

- **月次:** 主要顧客の信用情報確認
- **四半期:** リスク評価の見直し
- **半期:** 業界動向の分析
- **年次:** リスクマップの全面改定

結論

本リスクインテリジェンスマップに基づき、2024年度は特に特定顧客依存リスクと収益認識の適正性リスクを重点的に監査することとします。これらのリスクは相互に関連しており、包括的な監査アプローチが必要です。

また、サイバーセキュリティや人材確保等の中長期的なリスクについても、継続的なモニタリングを実施し、必要に応じて監査計画を見直してまいります。

次回更新予定: 2024年5月末

承認者: 内部監査部長 佐藤花子

最終承認: 代表取締役社長 鈴木一郎